

# 情報デザイン応用演習II 10. ポートフォリオ作成 I

# 目次

- 初めに
- ポートフォリオサイト
- Github Pagesとは?
  - Git
  - Github
  - Github Pages
- HP制作 ワークフロー
  - ワークフロー
  - 環境
  - やってみよう

# 最初に

## 前回の内容

- flexbox
- css grid

についておさらいしました。

## 今後の予定

### ポートフォリオ作成

を最終課題として、それに対して今回入れて6回課題に取り組んでいこうと思います。  
企画から公開までを全てこなす課題となります。

# ポートフォリオサイト

## 前提条件

実力差が激しいので、

1. 静的ページで作成する

- Github Pagesとして公開すること
- レスポンシブ対応であること

2. Wordpressを利用する

- FSE対応テーマでなければ小テーマを利用すること

3. ポートフォリオ作成ツールを利用する

のどれでも良いことにします。(本当は3は避けて欲しいけど...)

## Git? Github? Github Pages?

この3つの単語がよくわからないと、全くわかりませんね。

## Git

バージョン管理システムと呼ばれるものです。

開発においては、バグを修正したり、新機能を追加したり、ということをよくします。

これを、フォルダなどで日付管理することもできますが、システムで管理させるといいよね、というのがバージョン管理システムと呼ばれるものです。

プロジェクトを管理する場所のことをリポジトリと呼んだりします。

特に、自分のコンピュータ上の管理する場所を

ローカルリポジトリ

と呼びます。

## Github

一人ではなく、共同で作業すると

- 誰が
- いつ
- どんな修正を加えたか

について管理する必要があります。

ってことは、サーバが必要ってことですね。

有名なサービスだと

- Github

というのがあります。これは、自分のコンピュータ上でないので、

リモートリポジトリ

と呼びます

## Github Pages

サーバ上にプロジェクトを管理できるGithubですが、  
Webサーバを使えるようにすれば、Webページを作成できますよね。

これが、Githubの

Github Pages

という機能になります。

## Git/Github 紹介動画

- [Gitとは？GitHubとは？10分で仕組み・使い方を解説！【超入門編】\(11:18\)](#)
- エンジニア向けと言ってるけど、全員使っていいと思ってます。
- 主にはテキストファイルで使うべきで、動画などは容量が大きいためあまり向いてません。

## Github Pages 紹介動画

- [【GitHubの使い方入門】 GitHub Pagesを使って世界中にサイトを公開しよう！アウトプットこそ学びだ！\(10:30\)](#)

真似をして、最低限のHTMLでいいので、リモートリポジトリで公開してみましょう。

## Github vscode 連携 紹介動画

Githubでプロジェクト作成して、それをVScodeでクローン(ローカルに引っ張ってくる)のが一番簡単だとおもうので、その方法、及び更新方法について説明します。

- [GIT with VSCode | Clone, Commit & Push | Git Commit & Push with VSCode | GIT Clone, Commit & Push\(6:55\)](#)

git configの件は、個人を特定するだけなので、ユーザ名とか適当でいいです。メアドは有効な方がエラーなど報告があるので、使えるメアドにしましょう。(設定は一回だけです)

## 仕組みの紹介動画

- 【基本知識】 GitHubとは？できることや基礎用語を解説！(12:19)

## Gitを使いこなしてみよう

- Githubにリポジトリ作成(まだtestとかにしておこう)
- 簡単なHTMLをアップロードする
- Github Pagesで公開
- VSCodeでローカルにクローン
- ファイルの修正・ファイルの新規追加
- コミット 同期などして、リモートリポジトリに修正を加え、最新バージョンが更新されていることを確認しよう。

## その他...

これ、HTMLなどのコーディングだけでなく、文書作成でも利用できると思います。

実際、自分はこのサイト・スライドを作るときに使いまくってます。

詳しくはメディア表現VIでも扱います。

Git,Github,Github pagesに関する動画はたくさん上がっているので、わからなくなったら確認してみよう。

このページもよくまとまっています。

- [【超簡単】GitHub Pagesとは？手軽にサイト公開してみよう！](#)

# HP制作 ワークフロー

## ワークフロー

通常以下のような流れとなります。

1. ヒアリング
2. 企画立案・サイト設計
3. コンテンツ制作
4. Webサイトデザイン
5. コーディング
6. 校正・品質チェック
7. 確認・チューニング
8. サイト公開

## 環境

通常では

1. 開発・テスト環境
2. ステージング環境
3. プロダクション(本番)環境

と使い分けます。

1. 個人のPC
2. 関係者がアクセスできるサーバ
3. 不特定多数がアクセスできるサーバ

ですが、今回2番目は使いません。

2のところで、テストなどを行います。

## ヒアリング

クライアントがいる場合、要望などを聞きます。

また、この場合、現状サイトや競合サイトの分析も行います。

今回は、ポートフォリオサイトとしてどんなものがあるか、分析調査してみましょう。

## 企画立案・サイト設計

分析調査を踏まえたうえで、ユーザに効果的な

- Webサイトの企画
- サイトマップ

を制作します。

## ポートフォリオサイトに必要な事項

- 自己紹介
- 作品紹介(制作の意図・プロセス・担当範囲)
- スキル
- 実績
- 連絡先

## コンテンツ制作

コンテンツに必要な

- コピー
- 文章
- 画像

などを制作します。

今回は、ポートフォリオサイトのため、これまでに制作し、掲載したいコンテンツをWebで掲載できるように準備しましょう。

例えば、psd, ai, movファイルでは掲載できません。PDF,PNG,mp4形式に変換しましょう。

## IFRAME

HTMLではIFRAMEというタグがあります。

Webページ内に別のWebページや画像、動画などのコンテンツを読み込んで表示することができます。

ってことは、前半にやったJavaScriptの作品もこれで公開できるはずです。

- [iframeとは？基本的な仕組みと使い方・使用例を解説](#)

## Webサイトデザイン

情報を整理し、ユーザビリティを考慮したWebページをデザインします。

一から制作するのは大変ですので、XD,Figmaのテンプレートを利用してもOKです。レスポンシブ対応なことにも留意しましょう。

- [FREE Responsive Portfolio Template -- Behance](#)

こんなの使うと作りやすいかもです。自分でも探してみましょう。

- トップページ
- 各作品ページ

の二つがあれば、最低限足りると思います。(他に自己紹介ページかな...)

後述するモバイルファーストも意識しましょう。

## コーディング

最近では**モバイルファースト**でレスポンシブ対応することが多いようです。(Googleさんの意向も大きいようですが)

- モバイルファーストデザインとはスマホ版から作ればOK?手順やCSS解説つき

```
@media (min-width:768px){  
    /*タブレット用として画面幅を768pxまでに設定*/  
}  
@media (min-width:1024px){  
    /*PC用として画面幅を1024pxまでに設定*/  
}
```

で追記していきましょう。最悪、モバイルとPC版でOKとします。

- 参考：レスポンシブ対応のレイアウトを実装する最新テクニックを解説、モバイルファーストとデスクトップファーストの現状

## ハンバーガーメニュー

レスポンシブ対応時にほとんどは、レイアウト変更で対応できるかと思いますが、それで対応できないのがハンバーガーメニューとなります。

この辺参考にしてみましょう。

- 【コピペで簡単】ハンバーガーメニューをCSSだけで作る方法

## 校正・品質チェック

様々な環境で表示エラーや動作の不具合がないかチェックしましょう。

- ResponsiveViewer(Chrome機能拡張)

等をうまく使っていきましょう。

## 確認・チューニング

クライアントにチェックをうけ、直していきます。

今回は、なくてもいいですかね。

## サイト公開

Githubで公開できるようにして終了です。

## 就活で利用する場合

ソースを見れば、採用担当者はHTMLやJavaScriptの技術がどのくらいするか判断できることを意味します。

```
<!--  
    HTMLのコメントアウト  
-->  
// JavaScriptの1行のコメントアウト  
/*  
    JavaScriptの複数行のコメントアウト  
*/
```

等も気にすると、評価する人にアピールもできますね。

## ワークフロー(再掲)

1. ヒアリング
2. 企画立案・サイト設計
3. コンテンツ制作
4. Webサイトデザイン
5. コーディング
6. 校正・品質チェック
7. 確認・チューニング
8. サイト公開

## やってみよう

それでは、まず1-3あたりをやっていきましょう。

- 掲載する作品集め
- ページ構成

とよく考えましょう。

今日を入れて、残り6回となります。

トラブルったらどんどん質問してください。